



No.413

平成28年9月16日

編集発行 富山県教育委員会

発行人 教育企画課長

# 教委だより

## 特集 Stop! ザ・ネットトラブル (p2~p3)



小学校部門 (富山中部高校会場)



中学校部門 (砺波高校会場)



高校部門：物理分野 (総合教育センター会場)



高校部門：化学分野 (富山大学会場)

## むずかしいところがおもしろい とやま科学オリンピック2016 県内6会場で開催!

今年で6回目となったとやま科学オリンピックの小・中学校部門は、8月6日(土)に魚津高校、富山中部高校、高岡高校、砺波高校で、また高校部門は、11日(木)に総合教育センター(数学、物理)、富山大学(化学、生物)で開催されました。

今年は、これまでで最多の1,200名の児童生徒(小学校部門397名、中学校部門487名、高校部門316名)が参加し、富山湾や「ものづくり県富山」に関連した問題などに挑戦しました。

「難しければ難しいほど面白かったし、来年も参加したいです」「昨年とはまた違ったおもしろさがある問題が多く、楽しみながら解くことができた」「実験をし、グラフや表にまとめて考察もする一連の流れを自分たちだけでできたので、今後の活動にむけた貴重な経験になりました」などの感想がありました。

今後12月中旬に開催予定の富山県教育フォーラムにおいて、成績上位者に対し、金賞・銀賞・銅賞及び特別賞を授与する予定にしています。

### Contents (主な内容)

- 特集 Stop! ザ・ネットトラブル ……2~3p
- みんなで食育の推進を ……4p
- 平成28年度 永年勤続教職員等表彰式 ……5p
- 水泳指導者講習会 ……5p
- 集団登山引率者講習会 ……5p
- 新教育振興基本計画の策定 ……6p
- 土曜授業研究事業モデル校の取組紹介 ……6p
- 第33回「とやま賞」贈呈式 ……7p
- 埋蔵文化財センター 出前授業 ……7p
- 第1回 とやま親学び推進協議会
  - ・推進リーダー及びスーパーリーダー研修会を開催 ……7p
- 中学校・高等学校卒業生の進路状況調査結果 ……8p
- 道徳教育推進講演会・いのちの教育講演会 ……8p
- インフォメーション ……9p
- ストレスチェックについて ……9p
- 総合教育センターNOW ……10~11p
- 今日的課題に対応した教育相談訪問研修
  - 平成28年度保育技術協議会について
  - 「教育資料室」・「カリキュラム支援室」
- 学校レポート「地域と共に歩む「開かれた学校」づくり
  - 花壇づくりと常願寺川の河川環境保全の取組— ……12p
- 立山町立釜ヶ淵小学校
- リレーエッセイ「今時の若者は…」
  - 東部教育事務所長 飯野 義明 ……12p

**特集**

# Stop! ザ・ネットトラブル

～その1～

## コミュニティサイト等での犯罪被害（全国）



本年度4月以降、県内の女子生徒がコミュニティサイトで知り合った男性から犯罪被害を受ける事案が相次いで発覚…未成年者誘拐事案など

**対策が急務**

## 富山県ネットトラブル防止対策検討委員会を開催

知っていましたか? ～兵庫県調査結果より～



★子供の大半がネットに接続しています!

	ネット接続	機器：第1位	第2位	第3位
小学生(小4)	93.7%	スマートフォン	ゲーム機	パソコン
中学生	96.1%	スマートフォン	パソコン	タブレット端末
高校生	99.0%	スマートフォン	パソコン	携帯音楽プレーヤー

★子供はネットで困ったら誰に相談する? —教師?警察?親?友達?—

	第1位	第2位	第3位	第4位
スマートフォン使用者	友達	親	警察	教師
携帯電話(ガラケー)使用者	親	友達	警察	教師

教師に相談しにくいのは…

- ✓だってどうせ知らないし…
- ✓だって暴走するもん…
- ✓だって聞いてくれない
- ✓だって自分の言いたいことだけ言う
- ✓だって声が大きいからしんどい

## 教師の課題

～委員会での意見交換より～

- ✓ 最新の情報に追いついていない
- ✓ ネットトラブルについて、どのように指導すれば実効があがるかわからない  
※コミュニティサイトやSNSの知識が少ない

### 「メール」はもう死語?! ～連絡手段の主流は、無料通信アプリに～

平成27年度「携帯電話やパソコンに関する調査結果」によると、本県の高校生の約84%が無料通信アプリ「LINE」を利用しているとの結果が出ています。子供たちの連絡手段が、電話・メールからアプリに移行していることが窺えます。

ほとんどの子供はメールをコミュニケーションツールとして使わないため、携帯電話等の利用調査アンケートに「メールをしますか?」という項目があると、アンケート自体を時代遅れと感じ、アンケートを実施している学校等を軽視してしまいます。

### 「写メ」の使い方

- スマートフォンで写真を撮ること
- ×カメラで撮った写真を添付したメール

**最新の情報を習得することが必要!!** ～教師の知識も常にバージョンアップ～

## ～みんなて注意!!～

便利なインターネット。でも犯罪などの危険と隣り合わせであることは見過ごしがち。まずは、子供が被害者にならないよう注意しましょう。

### 軽い気持ちのつもりが・・・

#### CASE1 女性だと信じていたら・・・

女子高校生はコミュニティサイトで知り合った「女性」から「モデル事務所を紹介してあげる」と言われ、スマートフォンで上半身裸の画像を撮影して送った。しかし、この女性は男がなりすましていたものであり、男から「裸の画像を学校にばらまく」と脅された。



#### 児童ポルノ製造、脅迫被害

※画像は一度流出すると、回収は困難で、一生苦しむことになります。

#### CASE2 ネット上の危ない出会い

女子中学生は、GPS機能と連動し近くにいる異性を検索できるアプリを利用して、一度だけのつもりで男と会い、現金と引き換えにわいせつな行為をされた。その後「学校に援助交際をしたことを通報されなくなかったら、もう一度会おう」などと面会を要求された。



#### 児童買春、強要被害

※ネットのやりとりだけでは、本当の素性はわかりません。

#### CASE3 家出少女は狙われる

親とけんかをした女子中学生は、宿泊場所の提供を求めコミュニティサイトに書き込んだところ、車で迎えに来た男から家出をするようにそそのかされ、そのまま男の家に連れて行かれた。



#### 未成年者誘拐被害

※宿泊場所の提供を受ける見返りは大きく、犯罪の被害者となる可能性があります。

#### CASE4 携帯音楽プレーヤーやゲーム機にも要注意!

女子小学生は、ネット接続が可能な携帯音楽プレーヤーを利用し、SNSで男と知り合った。女子小学生は、男から巧みな言葉で頼まれ、裸の画像を携帯音楽プレーヤーのカメラ機能で撮影し、その画像を画像交換アプリで送信した。



#### 児童ポルノ製造被害

※携帯音楽プレーヤーやゲーム機、タブレット端末からもネット接続が可能です。

出典：警察庁「STOP! ネット犯罪—ネットの世界は危険と隣り合わせ!—」

「良い人だ」書き込みだけで決めないで

上 埜 真奈加さん（小矢部市立石動中学校（応募時））

平成28年度「情報通信の安全な利用のための標語」個人部門佳作受賞

## ～みんなておさらい～

### ネット環境は、機器も通信回線も日々進化!!

☆無線LAN回線（Wi-Fi等）の普及により、ネット接続できる機器が増えています。



### お下がリスマホ（旧）≡タブレット端末

保護者が機種変更して使わなくなったスマートフォンや中古品ショップで売っている中古スマートフォンは、子供にとっての宝物。

いわゆる「お下がリスマホ」や中古スマートフォンからも、携帯電話会社と契約しなくとも、無線LAN回線があれば、ネット接続できます。

★中古品ショップでは、子供だけで中古スマートフォン等を買えます。

#### —ネットの質問サイトより—

〇〇で中古の携帯（スマホ）を買おうと思っています。僕は中学生なので未成年です。僕1人で購入はできないでしょうか。（中略）そしてなるべく親にはばれないようにしたいです。

### 親の知らないところで子供はネット接続

駅、公園、公民館など公共施設やコンビニなどお店が提供するフリースポット（無料のWi-Fi等）を使えば、ネット接続が可能です。※フリースポットの整備状況は地域で異なります。

—特集は次号（その2）に続きます。引き続きネットの現状をお伝えします。—

# ～みんなで食育の推進を～

学校における食育を推進し、「元気とやまっ子」の育成を目指しましょう！

## 「毎日しっかり朝ごはん」運動

平成19年度より、朝から元気に活動する子供の育成を目指し、「毎日しっかり朝ごはん」運動を実施しています。

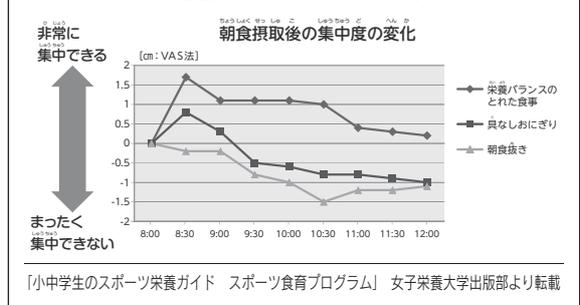
朝食の役割や朝食摂取の食習慣の大切さを啓発するため、毎年、県内全小・中・高・特別支援学校に食育カレンダーを配布しています。本年度は、野菜摂取の効果や朝食内容による集中度変化のグラフを掲載しました。また、啓発教材として、県内の小学1年生に「食育ランチマット」を配布しました。

朝食欠食率に関しては、本県は2%未満の低い値を維持しており（全国平均：4.4%《H27小学生：文部科学省発表》）、取組の成果が見られます。

今後も目標の朝食欠食率0%を目指すとともに、朝食内容に関しても子供自身が振り返り、改善を図っていけるように、「とやまゲンキッズ作戦(健康づくりノート)」の食生活の項目に「朝食内容」を加えました。

子供たちが、栄養バランスのよい朝食を摂り、朝から元気に活動できるように、引き続き指導をお願いします。

平成28年度食育カレンダー掲載のグラフ



### とやまゲンキッズ作戦（健康づくりノート）食生活の追加項目

①朝ごはんを食べていますか

②朝ごはんを食べている人は、何色の仲間の食品を食べていますか

★赤（ハム、卵、魚、肉、豆、牛乳など） ★黄（ごはん、パンなど）

★緑（野菜、くだもの） ◎その他の食品は、裏面の表を見てみましょう。

ア：[赤・黄・緑]の3つの仲間を食べている

イ：[黄・赤]または[黄・緑]の2つの仲間を食べている ウ：そのほか

### ＜朝食欠食率（第2期「富山県食育推進計画」の目標指標）＞

	策定時(H22)		現状(H27)		目標(H28)
● 朝食を欠食する子供の割合（小学校5年生）	0.8%	→	0.8%	→	0%
（中学校2年生）	1.9%	→	1.7%	→	0%

## 栄養教諭等と連携し、学校教育活動全体の中で食育の推進を

食に関する指導の目標には、「食の重要性、心身の健康、食品を選択する能力、感謝の心、社会性、食文化への理解」などがあります。この目標達成に向け、各学校においては、栄養教諭等と連携して作成した「食に関する指導の全体計画」を基に、給食を生きた教材として活用し、学校教育活動全体を通して取り組んでいます。

今年3月、農林水産部と連携して作成した副読本「みんなで学ぼう!とやまの『農』と『食』」を、県内の全小学校（小学4年生対象）に配布しました。

富山市立鶴坂小学校では、1学期の総合的な学習の時間に、この副読本を活用して、学級担任と栄養教諭のチームティーチングによる授業を実施しました。富山の地場産物や旬の食材を摂取するよさについて学んだ子供たちから「地場産物や旬の食材を食べるよさがよく分かった」「もっと、富山の食材について調べてみたい」「家族にも教えてあげたい」等の声が聞かれるなど、富山の食を通して活発に学び合う姿がありました。

副読本には、食文化の継承や、感謝の心を育み、食材を残さずいただく大切さについて学ぶページ等があり、郷土のよさや環境問題についても学習することができます。

文部科学省発行の食育教材「たのしい食事つながる食育」とともに、学級活動等に位置付けて活用し、食育を推進していきましょう。



金子教諭と小杉栄養教諭のTTの授業

## 平成28年度 永年勤続教職員等表彰式

平成28年度永年勤続教職員等表彰式が、7月1日県庁で行われました。県全体では、勤続30年が345名、勤続20年が120名、合計465名の授賞があり、その代表者が教育長から表彰状を授与されました。

渋谷教育長は式辞で、「皆様は、第2次ベビーブームにとまなう児童・生徒の急増期に奉職され、社会が大きく変化する中にあっても心豊かで創造力・実践力に富み、生涯にわたって主体的に学ぶ意欲・態度・能力を身につけた児童生徒の育成を目指して日夜たゆまぬ努力を重ねてこられました。今日、教育県富山として全国に誇りうる教育を展開しているのも、ひとえに皆様方の永年にわたる努力と熱意の賜物と、心から感謝します。また、皆さんの輝かしいご活躍を陰で支えてこられたご家族の方々に対しても、深く敬意を表します」と謝意を表しました。

これに対して、富山市立芝園中学校の田中万希子校長が、代表して謝辞を述べられました。



## 水泳指導者講習会

—水の中で運動する楽しさを味わえる水泳指導を目指して—

子供が十分に水に慣れ親しみ、浮く・もぐるなどの経験をしたり、心地よく泳ぐ・長く泳ぐことに楽しさや喜びを味わったりできるように、富山県総合体育センター屋内プールにおいて、水泳指導者講習会を開催しました。この講習会では着衣泳や泳法指導に加え、心肺蘇生法を中心とした救急救命講習を行いました。

今回の講習会では、児童の実態に合わせた指導方法を身につけるために、泳法指導と着衣泳を初級コースと上級コースに分けて実践しました。

初級コースでは、水に慣れる、浮く・泳ぐ運動について、児童の実態を考慮した指導方法を学びました。上級コースでは心地よく泳ぐ、長く泳ぐ運動を実習しながら、水の中で運動する楽しさを感じる指導方法を学びました。

全ての講習は、水遊びや水泳の大好きな子供たちが、安全で楽しく活動するために必要な内容であり、実際の指導に役立つ貴重な体験ができた、充実した講習会となりました。



浮く・泳ぐ体験をする受講者



身近な物を利用して浮かぶ受講者

## 集団登山引率者講習会 —雄大な立山連峰の自然の中で安全な登山引率を学ぶ—

集団登山を実施する学校の教員の引率能力向上を図るために、集団登山引率者講習会を、6月8日～9日及び15日～16日の2回、雄山及び室堂周辺で開催し、計65名の教員が参加しました。

初日は、高山における体調管理や応急処置、安全対策や事故発生時の対応などの講習を行いました。夜には、小グループでの研究協議が行われ、引率に際しての悩みや疑問など活発な情報交換を行いました。

2日目は、登山道や雪渓の歩き方、休憩の取り方など、安全な登山のための引率方法を体験しながら雄山頂上をめざしました。1回目、2回目とも天候には恵まれませんでした。天候不良時の実施の判断や登山に適した靴や服装について、実際に悪天候での登山を体験し理解を深めました。

参加した教員からは、「登山の専門家から様々な状況への対処方法をわかりやすく指導してもらえてよかった。」「研究協議会で他校の実施状況や今までの体験談など情報交換ができ、とても参考になった。」「児童が不安になった時に、安心させてあげる心の指導が重要だとわかった。」などの声が聞かれ、有意義な講習会となりました。



研究協議会（1日目）



雄山登山（2日目）

## 新教育振興基本計画の策定 ―概要とスケジュールについて―

昨年度、富山県の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の基本となる方針を定めた「富山県教育大綱」が策定されました。今年度は、この大綱の内容に即して、新たな教育振興基本計画を策定します。新たな教育振興基本計画には、教育大綱に盛り込まれた新たな視点の導入や大綱策定以後の国等における新たな施策を反映するとともに、数値目標を盛り込み実効性のある計画とする予定です。

5月27日に開催しました第1回新富山県教育振興基本計画策定委員会では、事務局からの策定趣旨及び計画の骨子の説明後に出席した委員からご意見をいただいております。現在、第1回策定委員会でいただいたご意見や国の動向等を参考に素案を作成しています。作成した素案については、10月に開催予定の第2回策定委員会で協議を行うこととしています。

今後、来年2月開催予定の第3回策定委員会、教育委員会の議決及び総合教育会議での承認を経て、今年度内に新たな教育振興基本計画を策定する予定です。

**1 趣旨** 大綱の内容に即して、新たな教育振興基本計画を策定

**2 枠組み**

- ①教育大綱の基本理念、基本方針の踏襲
  - ②知事部局と教育委員会が連携して策定
  - ③対象期間は5年間（H29～H33）
  - ④幅広い意見を反映させる有識者による委員会の設置
- ※総合教育会議にも随時報告



新富山県教育振興基本計画策定委員会の様子

**3 内容** 大綱に盛り込まれた新たな視点を導入するとともに、大綱策定以後の国等における新たな施策を反映するほか、数値目標を設定するなど、実効性のある計画。

## 土曜授業研究事業モデル校の取組紹介

― 総合的な学習の時間におけるキャリア教育の実践：高岡南高等学校 ―

「土曜授業研究事業」における高岡南高校の取組を紹介します。高岡南高校では、総合的な学習の時間で実施しているキャリア教育の一部を、土曜授業で実施しています。訪問した6月18日(土)には、各学年それぞれに特色のある取組が行われていました。

1年生は、会社経営者であるOBによる「キャリアデザインゼミナール特別講演会」に続き、クラス代表も参加するパネルディスカッションを行っていました。「夢に向かって生きるために」をテーマに、これからの高校生活で有意義な学びを得るためには何が大切なのか、先輩とともに議論を深めていました。

2年生は、近隣の国公立大学の教授10名の授業から、自分の希望に応じた授業を選択し、受講していました。今の学びがどう役立つのか、大学入学までにどのような学力をつける必要があるのか、意識しながら熱心に授業を受けていました。

3年生は、今までの学びの集大成としてキャリアプランニングのレポートの作成とグループごとの発表をしていました。当面する進路に直結する学問や研究につながる個人テーマを設定し、課題解決にむけてグループで議論していました。

土曜日を活用した系統だったキャリア教育の取組の成果が、3年生の姿から読み取ることができました。



グループで議論し、まとめのレポートを作成する3年生



様々な年代のOBとパネルディスカッションを行う1年生



大学教授の授業を熱心に受ける2年生

## 第33回「とやま賞」贈呈式

第33回「とやま賞」贈呈式が5月30日(月)富山国際会議場で行われ、学術研究やスポーツで顕著な業績を挙げた5氏をたたえ石井隆一富山県ひとづくり財団理事長が賞状などを贈呈しました。引き続き受賞者5氏による記念講演が行われ、研究の内容、苦労したことなどをわかりやすく、おもしろくお話しいただきました。

「とやま賞」は、学術研究、科学技術、文化・芸術、スポーツの分野において顕著な業績を挙げ、かつ、将来の活躍が期待される個人または団体に贈られ、今回で33回を数えます。詳しくは財団ホームページをご覧ください。

<http://www.t-hito.or.jp>



受賞者の皆さん

### 第33回「とやま賞」受賞者(敬称略)

- 学術研究部門(医薬) 米谷 耕平(独・マックスプランク研究所)、宝田 剛志(岡山大学)
- (理工) 野村 泰治(富山県立大学)、(人文・社会) 清河 幸子(名古屋大学)
- スポーツ部門 谷井 孝行(自衛隊体育学校)

## 埋蔵文化財センター 出前授業

埋蔵文化財センターでは、小・中学生、高校生などを対象に、出前授業を実施しています。この授業では、県内の遺跡から出土した縄文土器や弥生土器など本物の出土品にふれる活動のほか、火起こし体験や、縄文時代の方法を再現したまが玉づくりなど古代の人々の技や暮らしが体験できる活動を行っています。

授業はセンターで随時受け付けており、考古学の専門職員と社会教育主事が学校の学習のねらいや要望に合わせた授業を行います。このような活動をととして子どもたちの埋蔵文化財やふるさとの歴史に対する関心を高めます。ぜひ、社会科や歴史、総合的な学習の時間にご利用ください。



出土品にふれる小学生

## 第1回 とやま親学び推進協議会・推進リーダー及びスーパーリーダー研修会を開催

家庭の教育力の向上を目指した「親を学び伝える学習プログラム」を活用した「親学び講座」は、昨年度小中学校全体の96%で実施され、31,156人が参加するなど、普及が進んでいます。

5月24日(火)、第1回とやま親学び推進協議会を開催し、幼保拡大や「親学び講座」を活用したネットトラブル防止について協議しました。

また、6月18日(土)と26日(日)に、県内4会場で「推進リーダー及びスーパーリーダー研修会」を開催し、全中学校区に配置した推進リーダーを中心にPTA等も含め117人が受講しました。講師から「親学び講座」の導入のしかたや進め方などについて説明を受けながら、演習を通して、リーダーとしての資質の向上を図りました。

保護者の方々に、ぜひ「親学び講座」に参加していただき、子供たちの健全育成のために何が大切かをつかむきっかけにしてみたらと思います。



第1回とやま親学び推進協議会



推進リーダー及びスーパーリーダー研修会

# 中学校・高等学校卒業者の進路状況調査結果 — 平成28年5月1日現在 —

## 1 中学校

平成28年3月に県内の中学校(国立1校、公立80校1分校、私立1校)を卒業した生徒は10,095人(男子5,222人、女子4,873人)で、前年より94人減少しました。〈表1〉

高等学校等進学率については、99.0%(前年99.1%)で、全国第12位(前年第6位)となっています。〈表1・表2〉

就職率は0.3%(前年0.2%)でした。〈表1〉

## 2 高等学校

平成28年3月に県内の高等学校(公立41校2分校、私立10校)を卒業した生徒は9,161人(男子4,658人、女子4,503人)で、前年度より204人減少しました。〈表3〉

大学等進学率は52.0%(前年同率)で、全国第20位(前年19位)となっています。〈表3・表4〉

就職率は22.8%(前年22.2%)でした。〈表3〉なお、県内就職割合は95.1%(前年94.2%)で2年連続全国第2位となっています。

卒業者に占める進学者と就職者の合計の割合は98.3%(前年98.5%)で、全国第3位(前年第1位)となっています。〈表5〉



〈表1〉 中学校卒業者の進路状況

各年3月	実数(人)						割合(%)		
	a 卒業者	b 高等学校等 進学者	c 専修 学校等 進・入 学者	d 就職者	e その他	f (再掲 b,cの うち 就職者	b/a 高等 学校等 進学率	c/a 専修 学校等 進・入 学率	(d+f)/a 就職率
24	10,308	10,194	6	28	80	2	98.9	0.1	0.3
25	10,098	9,982	2	26	88	2	98.9	0.0	0.3
26	10,063	9,968	4	29	62	3	99.1	0.0	0.3
27	10,189	10,101	4	19	65	1	99.1	0.0	0.2
28	10,095	9,995	5	24	71	3	99.0	0.0	0.3

〈表2〉 高等学校等進学者の進路先状況

区分	進学者 総数	高等学校			高等専 門学校	特別支 援学校 高等部
		全日制	定時制	通信制		
実数(人)	9,995	9,263	313	57	282	80
割合(%)	99.0 (99.1)	91.8 (91.9)	3.1 (3.1)	0.6 (0.6)	2.8 (2.8)	0.8 (0.8)

(注) ( ) 内は、前年度調査結果の数値である。

〈表3〉 高等学校卒業者の進路状況

各年3月	実数(人)						割合(%)				
	a 卒業者	b 大学等 進学者	c 専修 学校等 進・入 学者	d 就職者		e その他	f (再掲 b,cの うち 就職者	b/a 大学等 進学率	c/a 専修 学校等 進・入 学率	(d+f)/a 就職率	(b+c+d)/a 進学と 就職の 割合
				正規	非正規						
24	8,791	4,683	2,168	—	—	149	—	—	—	—	—
				1,791	—	—	11	—	—	—	—
25	9,556	5,003	2,388	—	—	208	—	—	—	—	—
				1,957	—	—	12	—	—	—	—
26	9,106	4,712	2,220	—	—	167	—	—	—	—	—
				2,007	—	—	12	—	—	—	—
27	9,365	4,870	2,288	2,061	2	144	18	0	—	—	—
				2,063	—	—	13	—	—	—	—
28	9,161	4,762	2,156	2,076	7	160	8	1	—	—	—
				2,083	—	—	9	—	—	—	—

(注) 「その他」には、一時的就労者(アルバイト等)を含む。  
表中「d」内「正規」は正規の職員等で、「非正規」は正規の職員等でない者。  
なお、「正規」「非正規」の区分は、H27より学校基本調査項目に追加された。

〈表4〉 大学等進学者の学校種別・設置者別進学状況

区分	大学等 進学者 総数	大学				短期大学			そ の 他	
		計	国立	公立	私立	計	国立	公立		私立
実数(人)	4,762	4,017	1,222	303	2,492	655	1	31	623	90
割合(%)	52.0 (52.0)	43.8 (43.6)	13.3 (13.2)	3.3 (3.3)	27.2 (27.2)	7.1 (7.6)	0.0 (0.0)	0.3 (0.4)	6.8 (7.1)	1.0 (0.8)

(注) 「その他」は、大学・短期大学通信教育部、高等学校専攻科及び特別支援学校高等部専攻科等である。  
( ) 内は、前年度調査結果の数値である。

〈表5〉 高等学校卒業者に占める進学者と就職者の合計の割合(進路決定率)

区分	H24	H25	H26	H27	H28
割合(%)	98.3	97.8	98.2	98.5	98.3
全国平均(%)	93.7	93.8	94.3	94.7	94.8

(注) 進学者と就職者の合計の割合は〈表3〉の (b+c+d)/a である。

## 道徳教育推進講演会・いのちの教育講演会

8月2日、富山市婦中ふれあい館において、「道徳教育推進講演会・いのちの教育講演会」を開催しました。

前半は、文部科学省教科調査官の赤堀博行氏より、「道徳の特別の教科化と授業改善の在り方」という演題で講演がありました。今後の道徳教育の充実のために求められていることについて指導していただき、「考え、議論する道徳」とは何か、具体的に考えることができました。

後半は、作家で詩人の青木新門氏より、「いのちのバトンタッチ—映画『おくりびと』に寄せて—」という演題で講演がありました。命をつないでいくことの大切さについてお話をいただき、目の前の子供たちの言動を丸ごと受け止め、認めていくことの重要性を再認識する機会となりました。

参加者からは、「道徳の教科化に向けて大切にすることが明らかになった」「子供たちに命の尊さ、美しさを伝えていきたい」といった感想が多数聞かれました。



青木 新門氏



赤堀 博行氏

# インフォメーション

📍 開催場所 👤 内容 👥 対象 👥 募集人数 📄 応募要領 📅 休館日  
📄 募集締切 👤 参加料 🌐 ホームページ 📞 問い合わせ

**開催案内** 富山県中学校文化連盟(富山市立堀川中学校内) 電話076-424-3646

## 第21回 富山県中学校文化祭

期日 10月9日(日) 9:00~15:50

📍 高岡文化ホール  
 🆓 無料(見学自由)

👥 県下の中学生が一堂に会して、日頃の文化活動を発表する中学生の文化祭です。(美術、郷土芸能・演劇、音楽、新聞・文芸、書道、放送、茶道、科学、意見発表、特別展示の10部門)



平成27年度ステージ発表

**開催案内** 富山県高等学校文化連盟(県立高岡高校内) 電話0766-29-2530

## 第28回 富山県高等学校文化祭

期日 10月29日(土)~31日(月)

📍 富山県民会館  
 🆓 無料(見学自由)

👥 本県高等学校等生徒が、日頃の文化・芸術活動の成果を発表する文化祭です。高校生の若々しい感性と才能を広く県民の皆さんに知っていただく絶好の機会となっています。ぜひ、ご来場ください。



H27年度開会式の様子

**入館無料** 富山県埋蔵文化財センター 電話076-434-2814

## 特別展「霊峰立山 一立山信仰を探る」

期日 9月16日(金)~平成29年3月30日(木)

👥 県が平成22~26年度に実施した「立山・黒部山岳遺跡調査」の成果を、立山と同じく日本三霊山の白山、富士山の山岳遺跡とともに紹介します。また、富山県内の山岳遺跡関連資料の展示も行います。



雄山山頂

**入場無料** 富山県民謡舞連盟(生涯学習・文化財室) 電話076-444-3456

## 第65回富山県芸術祭主催行事 第65回富山県民謡舞大会「ふるさと民謡舞まつり」

期日 10月1日(土) 13:00開演

👥 県内に伝承されている民謡舞を一堂に会し、日頃の練習成果を発表します。

📍 新川文化ホール 小ホール 🆓 無料  
 開演: 13:00 (開場: 12:00)



過去の大会より

**入場無料(参加自由)** 富山県生涯学習カレッジ本部 電話076-441-8401

## 第28回 県民カレッジ学遊祭

期日 10月1日(土) 9:30~16:00

📍 富山県教育文化会館

👥 県民カレッジ講座の受講者、生涯学習団体および一般県民が一堂に集い、学習成果の発表や展示、交流を行う。表彰式・上映会(ふるさと学習教材)、特別講座、ステージ発表、展示、実演、お茶席など。

📍 富山県生涯学習カレッジ本部 076-441-8401

🌐 <http://www4.tkc.pref.toyama.jp/toyama/>



平成27年度開催風景

**入場無料(参加自由)** 富山県生涯学習カレッジ富山地区センター 電話076-441-0301

## 平成28年度 県民カレッジ富山地区センター学遊祭

期日 11月3日(木・祝) 9:30~14:00

👥 県民カレッジ富山地区センター「学遊祭」と雄峰高校「学園祭」の共催。生涯学習団体、自遊塾、共学講座等による作品展示やステージ発表を予定。



平成27年度開催風景

**入場無料(参加自由)** 富山県生涯学習カレッジ新川地区センター 電話0765-22-4001

## 第16回 新川キャンパスフェスティバル

期日 10月29日(土) 一般開放11:00~14:00

👥 社会人受講者と新川みどり野高校の生徒が共に学ぶ「共学講座」をはじめ、各講座での学習の成果を展示・発表します。ステージイベントや各種即売会も予定しています。お気軽にご来場ください。



H27即売会の様子

**入場無料(参加自由)** 富山県生涯学習カレッジ高岡地区センター 電話0766-22-5787

## 平成28年度ウイング・ウイング祭

期日 10月21日(金)~23日(日)

👥 県民カレッジ高岡地区センター「学遊祭」と志貴野高校「文化祭」の開催。NHKチーフディレクター渡辺考氏による記念講演(21日、無料、先着順)や、生涯学習団体、自遊塾、共学講座等による作品展示やステージ発表を予定。



記念講演講師 渡辺 考氏

**入場無料(参加自由)** 富山県生涯学習カレッジ砺波地区センター 電話0766-61-2020

## 第16回 となみキャンパスフェスティバル

期日 11月12日(土) 9:00~15:30

👥 となみ野高校の生徒と社会人受講者が、日頃の学習成果(ステージ発表、作品展示、パネルによる活動紹介、模擬店など)を発表します。ぜひ、ご来場ください。



平成27年度開催風景

# ストレスチェックについて — 教職員のメンタルヘルス —



自分自身で心の健康状態をチェックすることはストレスへの気づきを促し、健康管理や精神疾患の未然防止にも役立ちます。

ご自身の健康は、まずはご自身で守りましょう。

県教育委員会では、本年度からストレスチェックを実施します。

また、その他、県教育委員会と公立学校共済組合富山支部では、「教職員・心の健康管理医」として専門医を委嘱し、無料の個別相談を実施しています。お気軽にご相談ください。

個別相談等の詳しいお問合せは、公立学校共済組合富山支部健康管理係まで TEL: 076-432-7176

## 心のセルフチェックシステムのご案内

公立学校共済組合では、教職員の方がインターネットを使っていつでも利用できる心のセルフチェックシステムの運用を始めました。

<https://kokoronokenkou.jp/>

# 総合教育センター NOW

## 教育相談部 今日的課題に対応した教育相談訪問研修

教育相談部が主管する教育相談訪問研修では、調査研究事業の成果や教職員研修の研修内容を生かして、学校の抱える今日的な課題解決に向けた支援に取り組んでいます。

学校や市町教育センター、各種教育団体等の要望に応じて訪問し、教育相談や生徒指導、特別支援教育等に関する研修を実施したり、特別な支援を必要とする幼児児童生徒の支援会議に参加したりしています。

### 研修内容 ※下線部は調査研究の成果を生かした内容。( )内は、調査研究実施年度。

- (1) 育成型プログラム
  - ・ソーシャルスキル・トレーニング (H14~16)    ・アサーション・トレーニング (H20~23)
  - ・ストレスマネジメント教育 (H17~19)    ・集団づくりプログラム (H26, 27)
- (2) 教育相談や生徒指導に関する内容(理論、演習、児童生徒観察、事例検討等)
- (3) 発達障害等、特別支援教育に関する内容(理論、演習、幼児児童生徒観察、事例検討等)
- (4) 教師のメンタルヘルス (H24, 25)

### 研修の実績 ※学校は、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校への訪問。サテライトは、市町教育センターや小・中・高教研等の各種教育団体が主催する研修会への訪問。

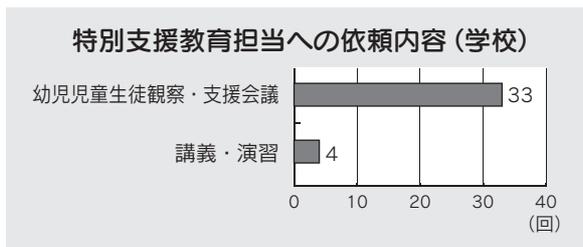
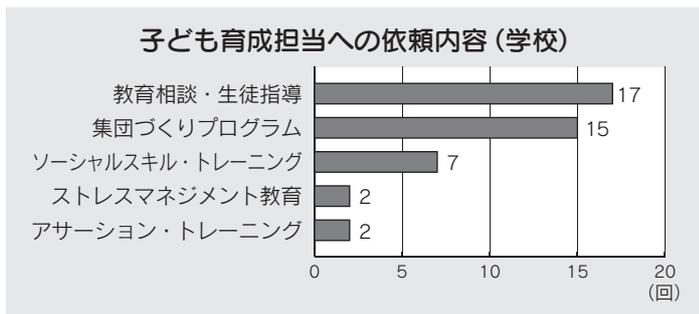
#### 平成27年度

	子ども育成担当		特別支援教育担当		教育相談部合計	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
学 校	43	686	37	263	80	949
サ テ ラ イ ト	23	482	7	224	30	706

70%以上が学校からの依頼です。校種では、小学校が最も多くなっています(65%)。

子ども育成担当では、学校からの60%が育成型プログラムの依頼です。その中でも集団づくりプログラムへの依頼が最も多くなっています。

特別支援教育担当では、学校からの約90%が通常の学級における特別な支援を必要とする幼児児童生徒の観察や支援会議における助言依頼です。



### 集団づくりプログラム

すべての校種向けに、「対人関係ゲームを用いた学級集団づくりプログラム」を提供しています。

支援ツールを活用した集団づくりプログラムについて研修します。受講される先生方に児童生徒役になっていただき、実際のプログラムを体験してもらいます。



対人関係ゲーム  
「ラッキーセブンじゃんけん」

### 支援会議への参加

発達障害やその疑いのある幼児児童生徒について、授業や休み時間等の様子を観察した後、担当する先生方との支援会議に参加し、適切な学習支援の方法や、不適切行動への対応、校内支援体制等の具体的な援助策を話し合います。

## 教育研修部

# 平成28年度保育技術協議会について

7月14日(木)と7月27日(水)の2回にわたり、経験年数が3年以上で20年未満の幼稚園教諭、保育教諭、保育士を対象に、標記の研修会を実施しました。カウンセリングマインドを生かした保育技術について研修を行い、指導力の向上を図ることを目的として、講話「子どもたちの人間関係を育てる保育」、班別協議「特別な支援が必要な子の保育について」、講話と演習「幼児の見取りと瞬時の対応」を行いました。

受講者からは以下のような声が聞かれました。

- ・友達にほめられたり助けられたりする経験ができる遊びの大切さを学ぶことができよかった。
- ・保育者の言葉かけや関わり方の工夫により子供の育ちが大きく変わることを改めて感じた。
- ・子供の思いを瞬時に読み取り、対応する力がまだまだ備わっていないことを感じたので、子供を見る目を日々高めていきたいと思った。
- ・子供が伝えたかった気持ちを受け止める「共感的理解」の大切さを改めて感じた。



班別協議  
(フリーカード法を用いて)



協議内容の発表



講話と演習

## 科学情報部

# 「教育資料室」・「カリキュラム支援室」

～教材研究・授業づくり・児童生徒支援のために活用してください～

富山県総合教育センターの3階には、「教育資料室」と「カリキュラム支援室(資料室分室)」という部屋があります。通常の図書館と違う点は、教育関係に特化した資料室・支援室だということです。

教育資料室は、県内各学校の実践報告書、教育研究のための専門書、教育関係雑誌などをはじめ、各県の教育センターや大学からの紀要、各種教育団体の研究資料や実践報告書などを取りそろえています。平成28年7月現在で、9万1千冊あまりの書籍・文献を有します。

授業の実践報告書や学習指導案などもたくさん保管してありますので、教材研究、授業づくりに大いに活用してください。また発達障害などの児童・生徒を支援するための書籍・文献もそろっています。

カリキュラム支援室は、教育資料室の分室として、最新の教科書、学力向上拠点校の研究報告書、スーパーサイエンスハイスクール関係の資料を展示しています。また、県内特別支援学校の「個別の教育支援計画」・「個別の指導計画」の様式や作成の手引きなどが保管されています。

富山県総合教育センターのホームページで、「教育資料」をクリックすると、「教育資料データベース」で検索ができます。13万8千件あまりの書籍、文献の目録が登録されています。閲覧や貸し出しも行っていますので、是非ご活用ください。

(利用時間は原則として平日の8時30分～17時)



教育資料室(教育ビル3階)

学校におじゃまして取材し、みなさんに各校の取組の様子をお届けします。

# 学校レポート

## 地域と共に歩む「開かれた学校」づくり — 花壇づくりと常願寺川の河川環境保全の取組 —

立山町立釜ヶ淵小学校

立山町立釜ヶ淵小学校は、地域教材や地域の教育力を活かした学習と活動の場を積極的に展開しています。今回は、2つの取組を紹介します。

一つは、地域のグリーンキーパーさんと一緒に行う花壇づくりです。今年は、5月26日に花壇の花植えを行いました。花の背丈や配置などコツを教わりながら、一つ一つの苗をていねいに植え付けました。花壇が完成した後も、水やりや除草、施肥など花壇の管理も一緒に行っています。地域の方々との絆が「花」を通して深まっています。



地域のグリーンキーパーさんと一緒の花壇づくり

二つ目は、「常願寺川の清流と桜を愛する会」の皆さんと共に行う身近な水辺環境調査（富山河川国道事務所の協力による）です。毎年4年生が参加し、今年は6月5日に実施されました。薬品による水質

検査では、全員が順番に川の水を汲んできてpHやリンなどを測る試薬を溶かし、見本の色と見比べて結果を記入しました。



常願寺川での水質調査、水生生物の生息調査

分析の結果、常願寺川の水がきれいな状態であることが分かった一方で、今年は雪解け水が少なかったことなどによって藻が枯れていることにも気付くことができました。水生生物の調査では、石の裏にいるヒラタカゲロウやカワゲラなどの小さな生物をたくさん見付けることができました。「常願寺川がきれいでよかった」「このままきれいな川であってほしい」などの声が多く聞かれたそうです。

学校運営の方針にある、地域とともに歩む「開かれた学校づくり」が、「環境」というキーワードを軸として着実に前進している様子を感じることができる訪問となりました。

## リレーエッセイ

### 「今時の若者は…」

東部教育事務所長 飯野 義明

先日、息子の遠征について出かけた帰路、あるサービスエリアに立ち寄った。売店では、同じく遠征帰りと思われる中学生が数人、楽しそうに土産物を選んでいて。何気なく見ていると、彼らが手にしていたのは、何と「根性」や「忍耐」等の文字プレートがついた仏閣のミニチュアであった。昭和40年代頃までは、修学旅行の定番だった土産物である。



なぜ今頃と、同じく中学生の息子に聞くと、体育会系の人間としては書いてある文字にやる気が湧いてくるそうである。思わず40数年前の自分と話しているように感じた。

今、若者の間では、レコードやフィルムカメラなど、アナログブームだと聞く。人間的な温もり、目的にたどり着くまでの手間、工夫する楽しみ等を味わったり、唯一無二の価値を手に入れたりできるのが魅力だそうである。単なるブームではなく、本物を目指すために努力は惜しまないという姿勢があるとしたら、「今時の若者は、大したもの」である。

我々の世代も、若かった頃は「今時の若者は…」と、…の部分はあまりありがたくない言葉で表現されていたように思う。しかし、大人になってからは、それなりに社会を背負ってきたという自負がある。今の若者も、まだまだ未完成な部分が目についてしまうが、きっと大丈夫である。土産を抱えてバスに乗り込んでいく中学生に、心の中で「頑張れよ」と声をかけて、私も帰路についた。

#### ■執筆者プロフィール

富山市出身 富山市教育センター所長代理 富山市立三郷小学校長  
東部教育事務所次長・管理課長を経て平成28年4月より現職。

（御意見・感想・学校が元気になるアイデア等お寄せ下さい。）

教育長への直通メールアドレス：ml-powerup@pref.toyama.lg.jp